

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	教育総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会の場を設けていくほか、大幅な教育政策の変換期にあたることから、他市の動向を把握しながら、本市の新しい教育委員体制を確立する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。
②①に基づく取り組み結果	公開研究会や各種学校行事に参加するほか、児童生徒の学習に取り組む現場を視察するなどし、新しい教育委員会体制の確立に努めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育、学術及び文化に関する識見を有する者を任命する。
②事務事業の概要	毎月1回定例会を開催し、本市の教育方針や教育行政にかかわる議決事項を審議し決定している。教育長が必要と認めたとき、または委員2人以上から会議に付議する案件を示して会議の招集の請求があったときは臨時会を開催する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	教育委員会の大幅な教育政策の変換期にあることから、他市の動向を把握しながら、新しい教育委員会体制を確立する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	生涯学習の推進、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など教育行政に対し、教育委員による多様な民意を反映した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	定例会の回数	12	12	12	回	実施回数
	ii	臨時会の回数	6	5	7	回	実施回数
	iii	議決された案件	61	46	33	件	議決案件数
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	2,436	2,272	金額(千円)	内容		2,351	
	国支出金(千円)		2,123	報酬			
	県支出金(千円)		117	旅費			
	市債その他(千円)		32	負担金			
	一般財源(千円)						

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	教育に携わる者の意欲の向上や達成感を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越	
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成28年度への繰越額(単位:千円)					

平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成26年度に実施できなかった体育館の改修工事を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	鎌ケ谷小学校の外壁屋上改修工事の際に老朽化した建具の改修を併せて行う。
②①に基づく取り組み結果	中部小学校体育館の床改修のほか、鎌ケ谷小学校トイレ改修、鎌ケ谷中学校外壁屋上改修、鎌ケ谷中学校集水槽設置、第四中学校プール改修を実施し、工事を完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に改修を行い、学習環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の建設時期が一定期間に集中していることから、全体的に老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	予定した事業をすべて計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 校舎工事に関する生徒/全生徒	8	29	18%	実施校生徒数/全生徒数
	ii 体育館工事に関する生徒/全生徒	5	0	10%	実施校生徒数/全生徒数
	iii その他工事に関する生徒/全生徒	0	20	13%	実施校生徒数/全生徒数
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	196,017	194,709	金額(千円)	内容	199,912
国支出金(千円)			3,577	小学校工事設計委託費	
県支出金(千円)			52,833	小学校工事費	
市債その他(千円)	191,000	145,000	6,644	中学校工事設計委託費	149,800
一般財源(千円)	5,017	49,709	131,655	中学校工事費	50,112

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	校舎外壁、トイレ改修等工事	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	199,632	199,632	当初	199,632	H26からの繰越	0	
				H26⇒27繰越				
③達成状況	完了			補正		194,709	現年分	194,709
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
平成28年度への繰越額(単位:千円)							0	

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設空調設備設置事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	中学校5校に空調設備を設置する。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取組み結果	中学校5校の教室に空調設備の設置を完了した(小学校9校は26年度に設置完了)。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る。
②事務事業の概要	夏季期間の学習環境を向上させるため、教室に空調設備を設置する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	近年の猛暑に伴い空調設備の設置要望が多く、近隣市においても同様の事業が検討されている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	中学校5校の空調設備設置工事の完了。					
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	設置工事实設計	64	100	100%	実施済校数/全校数
	ii	設置工事	0	64	100%	実施済校数/全校数
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	920,291	566,230	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)	133,345		566,230	中学校工事費		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	784,000	424,400				
一般財源(千円)	2,946	141,830				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成27年度において、小中学校の空調設備設置を完了したため、今後は、適正な維持管理を行っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	平成27年度で全中学校の工事を完了した(小学校は26年度で完了)。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	中学校5校の空調設備設置工事	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	699,280	699,280	当初	699,280	H26からの繰越	0	
				H26⇒27繰越				
③達成状況	完了			補正		566,230	現年分	566,230
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成28年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設用地整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	西部小学校用地の購入。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	平成27年度に購入した西部小学校用地は、車両通行用の進入路の拡幅及び駐車場の整備を行う。 五本松小学校用地の購入を行う。
②①に基づく取組み結果	西部小学校用地の購入を完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校施設	意図(対象をどうするのか)	施設運営に必要な用地を確保する。
②事務事業の概要	児童・生徒の活動環境向上のため、必要な用地を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成27年度に購入した西部小学校用地の整備を進めるとともに、安定的な学校運営を図るため、借地である五本松小学校用地の購入を行う。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	西部小学校用地の購入を完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	用地の購入状況	25	75	80	%	購入完了数/予定学校数(5校)
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	148,263	11,477	金額(千円)		内容	13,860	
国支出金(千円)			20		消耗品費(契約印紙購入費)		
県支出金(千円)			357		委託料(不動産鑑定、登記委託)		
市債その他(千円)	133,300	10,200	11,100		公有財産購入費(用地購入費)	8,800	
一般財源(千円)	14,963	1,277				5,060	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成27年度に購入した西部小学校用地の整備を進めるとともに、五本松小学校用地の購入に向けた準備を行う。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	平成27年度に購入した西部小学校用地の整備を進めるとともに、五本松小学校用地の購入を行う。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	西部小学校用地の購入	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり用地購入を完了した。	12,320	12,320	当初	12,320	11,477	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越			現年分	11,477
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成28年度への繰越額(単位:千円)						0

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設非構造部材耐震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	小学校9校のガラス飛散防止フィルム貼付、照明器具の耐震改修工事	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	小学校9校のガラス飛散防止フィルム貼付、照明器具の耐震改修工事を完了した(中学校5校については26年度で完了)。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内全小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	非構造部材の安全性を確保する
②事務事業の概要	体育館天井落下防止対策、ガラス飛散防止対策、照明器具落下防止対策を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	文部科学省では非構造部材の耐震化を積極的に進めており、特に天井落下防止対策は平成27年度の完了を求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	小学校9校のガラス飛散防止フィルム貼付、照明器具の耐震改修工事を完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	天井落下防止対策	100	100	100	%	実施済校/対象校
	ii	ガラス飛散防止対策	0	36	100	%	実施済校/全校
	iii	照明器具耐震対策	0	36	100	%	実施済校/全校
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	71,225	115,544	金額(千円)		内容		
国支出金(千円)	21,589	40,110	28,766		小学校委託料(ガラスフィルム貼付委託)		
県支出金(千円)			86,778		小学校工事費(照明器具改修工事)		
市債その他(千円)	48,100	74,600					
一般財源(千円)	1,536	834					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成27年度において、小中学校の非構造部材耐震改修を完了したため、今後適正な維持管理を行っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	平成27年度で全小学校の非構造部材耐震改修を完了した(中学校は26年度で完了)。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績		当初		H26からの繰越	
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正		現年分	
		流用・充当			
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)				